

9 体力つくり指導全体計画

学校の教育目標			
<p>【児童の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に教室でクロームブックを使用する児童が増えており、体育館やグラウンドで遊ぶ児童が減少している。車での送迎が増え、体力の低下が懸念される。 ・体力テストでは、握力・反復横跳び・シャトルランで、全学年が全国平均を上回った。一方、50m走・立ち幅跳びで、全国平均をほとんどの学年が下回った。 ・肥満傾向の児童は昨年度より減少傾向にあるが少なくない。 	<p>【目指す子供像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わい、進んで運動に親しむ子供 ・目標をもって運動に取り組み、達成の喜びを感じたり、未達成の悔しさを受け入れ、粘り強く乗り越えたりしようとする子供 		
<p>(1) 子供の運動意欲の向上と運動時間の増加を図るために、体育の学習の充実と運動環境の整備に努める。</p> <p>(2) 運動意欲を持続させるために、取組の工夫・改善を積み重ねていくとともに、効果的なカリキュラムの作成を通して、無理なく進めていく体制を構築する。</p> <p>(3) 自らの健康・体力への関心を高め、目標をもって取り組むことができるよう働きかける。</p> <p>(4) 体力テストの実施と分析を通して、本校の課題を絞り、改善に向けた重点的な取組を進める。</p>			
<p>教科指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・授業における運動量の確保 ・個に応じた目標の設定、指導、評価の充実 ・運動の特性にふれる授業展開 ・指導技術向上のための教員研修 	<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「運動」をテーマとした学校保健委員会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・運動スポーツイベントの企画・運営（保健委員会と連携） ◆たてわり班活動による運動遊びの推進 ◆学年・学級で、身体を動かして遊ぶレクリエーションの計画的な設定 	<p>学校行事・環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆体力テストの実施・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・実態から重点指導項目を設定する。 ◆「大庄っ子の記録」（ホワイトボード）の活用 ◆運動に親しむことができる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツに親しめる用具の充実 ・施設・設備の整備と安全点検 ◆運動・体力に関する情報発信 	<p>家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆望ましい生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ご飯やメディアコントロール等の励行 ◆日常的な身体活動量の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な体育館遊び、外遊びの励行 ・徒歩による登下校 ◆各種運動・スポーツ活動やイベントへの積極的な参加、協力
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 体力テスト実施後、自ら目標を立て体力・運動能力の向上を目指すスポーツ集会を運動委員会中心に実施する。（2学期は記録にチャレンジ、3学期は成果発表） ◆ スポーツ指導者派遣事業等外部指導者を活用する。 ◆ チャレンジ技セブン、ゲンキッズを活用する。（目標設定とスマーレステップによる指導） 			